

(6) 学校図書館での取り組み

学校における子ども読書活動の推進を図るため、授業をはじめとした学校教育活動の中に読書を位置づけて、読書教育の取り組みを進めています。また、読書や本への興味が持てるようなさまざまな機会を作っています。

✿ 中学校図書館 自主制作冊子『文学少女のすすめ』

「『文学少女』の冊子をつくろう！」好きな本をめぐって自然発生的に仲間が集まり、1冊の本を作りました。企画、編集、発行まで時間はかかったものの、すべて生徒たちの手でやり遂げました。

*「文学少女」シリーズとは作家野村美月さんの小説で、エンターブレイン社より出版されています。



もくじ



表紙

— もくじ — より
はじめに
“文学少女”の登場人物
全巻のあらすじ
“文学少女”の本の紹介
各巻のあらすじ
“文学少女”の好きなセリフ
三題噺を書いてみた
“文学少女”を読んだ感想
“文学少女”の本棚

はじめに：
この冊子は、“文学少女”シリーズが大好きな人が集まって作った冊子です。もっと沢山のの人に、“文学少女”を知ってもらいたい、という想いを込めて、作りました。これを読んで少しでも多くの人が、このシリーズの良さをわかっていただければ幸いです。
では、“文学少女”の世界へ、どうぞ——

『文学少女のすすめ』より

広がる仲間・広がる本の世界

本当に冊子ができてびっくり。この本のおもしろさをみんなに伝えたい。（作者）

さんだいぼなし

三題噺 —14 中生がチャレンジ—
原作に倣って、3つのお題をもとに短い小説を書きました。



図書館内にコーナーを作りました。

“文学少女”のほんだな

イラストの画集や雑誌記事、作中に出てくる古今東西の文学作品も併せて展示してあります。



関連する取り組みの番号 No. 78

❖ 小中学校と市立図書館が連携した紙芝居ボランティア

第十二中学校では小中連携事業の一環として、2009年度から紙芝居ボランティアに取り組んでいます。夏休みに豊南・高川・小曾根小学校の図書館へ、十二中生が紙芝居を読みに行きます。ボランティアは図書委員会を通じて、全校生徒に呼びかけて募集しています。毎年20人ぐらいの応募があります。

当日使う紙芝居は、高川図書館から借りています。紙芝居の読み方は、高川図書館で読み聞かせの活動をされている、おはなしポケットの有志の方に、十二中の図書館で指導して頂いています。

今年は夏休み前に4校の司書教諭と学校司書が集まり、打ち合わせをすることができました。当日の段取りはもちろん、各校の図書館活動についてそれぞれの立場から情報交換と読書活動を通して地域で子どもの育ちを支援しようと話しあうことができ、貴重な時間を持つことができました。

紙芝居の当日は引率の先生方と一緒に、小学校へ行きます。最後に小学生から、中学生への質問コーナーを設け、中学校での生活の様子を小学生に伝えています。小学生は中学校の生活を知り、大きくなることを楽しみにする様子もみられました。



豊南小学校



高川小学校



小曾根小学校

高川図書館では小・中・高・大学生の紙芝居ボランティアを募集し、月1回程度紙芝居会を行っています。そこで、この取り組みを地域の方々にも知ってもらうためにも、当日の写真や感想を模造紙にまとめ高川図書館内に掲示して頂きました。参加した生徒からは、聞いてくれてうれしかった、また参加したいという感想が多く、聞いてもらうことに喜びを感じていました。



高川図書館での掲示

関連する取り組みの番号

No. 79